



# 湊小学校だより

令和2年2月20日

白山市立湊小学校

## 後期学校評価結果報告

12月には「後期学校アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果から見てきた、本校の取組の成果や課題・対応策等についてお知らせいたします。2月3日に学校関係者評価委員会（学校評議員及び育友会、地域、保育園、中学校の代表者で構成）を開き、ご意見・ご助言をいただきました。



### (1) 「考える・分かる・できる」(確かな学力の育成)

2019年度後期 湊小学校生活アンケート	児童	後期 A+B (%)	前期 A+B	後期 A+B (%)	前期 A+B	保護者
学習意欲の醸成	勉強して力がつくことはうれしい	99	98	78	84	勉強に意欲的に取り組んでいる
基礎学力の定着	授業で学んだことを復習している。	83	84	71	68	授業で学んだことを復習している
	わたしは、毎日、家で〈学年×10分〉勉強している	85	91	75	78	学年×10分(1・2年生は20分)勉強している
授業力の向上	授業の内容がよくわかる	90	94	88	88	「授業がよくわかる」と言っている
	授業で考えるのは楽しい	92	96			
活用力の育成	自分の考えや学んだことを、文や図を使って書いている。	88	90			
	ノートをていねいに書いている	82	84	69	67	ノートを丁寧に書いている
質の高い 読書活動の推進	目標の冊数以上本を読んでいる 低・中:40冊以上 高:30冊以上	72	81	66	70	よく本を読んでいる

学力調査等の結果から、本校の児童は「資料から事実を取り出し、関連づけて書く」ことや「数字や言葉を使って説明する」等、与えられ条件に合わせて「書く」ことに課題があると考えています。そこで「勉強して力がつくことはうれしい」「考えるのは楽しい」という意欲を大切にしながら、課題改善のための取組を重ねています。

学習に関する児童の回答は、前期に比べると全体的にA（あてはまる）またはB（どちらかというにあてはまる）はやや減っています。これは児童自身が自分たちのめざすゴールのイメージがはっきりしてきたため、より厳しく自分をふり返っていることも一因であると考えています。1学期に比べ、授業では根拠や理由を明確にしながら発表したりノートをまとめたりしようとする姿が増えつつあります。また、教職員アンケートでもこうしたことを意識した授業の工夫については前期よりも向上しているという結果が出ています。授業でつけた力をしっかり定着させるためにも、家庭学習は大切です。この3学期に1年間のまとめをしっかりと、自信をもって進学・進級できるよう、ご家庭でもお声かけ等の応援をお願いいたします。



**対応策**

- ※今後も、根拠や理由を明確にして自分の考えを表現する場を大切にするとともに、相手意識をもって話したり聞いたりする意識を育てていきます。
- ※授業の最後に行う「ふり返り」の場を充実させ、自分の学び・成長を実感させていきます。
- ※学校での学習を家庭学習の意欲につなげるとともに、各自が計画的に取り組めるような課題内容や与え方を吟味します。
- ※担任や図書委員会による働きかけを行い、読書での関心・意欲を高めていきます。また授業においても、学校図書館を有効に活用していきます。

(2)「思いやりを形に」(豊かな心の育成)

2019年度後期 湊小学校生活アンケート	児童	後期 A+B (%)	前期 A+B	後期 A+B (%)	前期 A+B	保護者
規範意識の醸成	授業の前に学習の準備をしてチャイム着席している	92	89	92	98	自転車に乗るときはヘルメットをかぶり、飛び出ししないように声掛けをしている
挨拶の徹底	自分から挨拶している	93	94	93	89	あいさつをきちんとしている
生活習慣の定着	清潔を保つために爪を切り、ハンカチを交換している	88	92	82	84	爪を切り、ハンカチを交換している
	早寝・早起き、歯みがきをしている	83	89	77	78	決まった時刻に起きたり寝たりするなど、規則正しい生活をしている
道徳教育の充実	友達に対して、思いやりの心で行動している	91	92	91	95	友だちに対して、思いやりの心で行動している
	先生や友達がいる、学校は楽しい	94	96	89	91	学校に行くのが楽しいと感じている
	自分のよいところと言える	83	77	75	81	お子さんは自分のよいところと言える

前期に比べ、児童の「生活習慣の定着」の項目の評価が下がっていることが目立ちます。生活のリズムは崩れていませんか？ 歯みがきや爪切り、ハンカチの交換はできていますか？ お子様の様子をご覧になってまた声かけをお願いいたします。

「自分のよいところと言える」子が増えて、うれしく思います。頑張りや上手にできたこと、すてきな行動を認めたり広げたりして、自信につなげていけるとよいですね。



**対応策**

- ※毎週月曜日の「つめ・ハンカチ調べ」に加え、健康保健委員の呼びかけや養護教諭の指導も行っています。
- ※機会あるごとに、相手の立場に立って考えたい行動したいすることを意識させていきます。やさしい子や頑張る子が増えることで、学校がますます楽しくなることを願っています。

### (3) 「全力で挑戦」

2019年度後期 湊小学校生活アンケート	児 童	後期 A+B (%)	前期 A+B	後期 A+B (%)	前期 A+B	保護者
自己有用感の育成	縦割りグループでは積極的に活動し、グループの人と協力している	96	96	90	92	お子さんに、よく「ありがとう」など感謝の言葉を伝えている
体育・健康教育の充実	体育の時間やその他の時間に体をよく動かし、体力がついてきている	91	93	98	97	お子さんは、毎日朝食をとっている

日々の掃除や運動会や小舞子海岸清掃等、縦割りグループでの活動では、上級生が全体を見て上手に指示を出したりよいお手本を示したりしてくれている姿よく見かけます。それぞれの立場で学年に応じためあてをもって活動する中で、たくさんのことを学んでほしいと思います。

1月は全校で「なわとび」による体力づくりに取り組んでいます。短縄ではどの子も自分のめあてに向かって一生懸命練習を重ねています。また、縦割りグループで挑む大縄8の字跳びでも皆で声をかけ合って頑張っています。



#### 対応策

※縦割り活動や委員会、係活動、また卒業式・6年生を送る会に向けた取り組みにおいても各自の役割と責任をしっかりと自覚させ、自分のやるべきことをきちんとやり遂げられるよう支援します。

「～してよかった」という達成感を味わうことで、自己有用感(自分が誰かの役に立っている、必要とされているという満足感)を高めていってほしいと思います。

※体育の授業や休みの時間に取り組んでいるなわとびを中心に、各学年の目標を意識できるよう啓発しながら体力や技術の向上を促します。

### (4) 課題への取り組み

2019年度前期 湊小学校生活アンケート		児 童	後期 A+B (%)	前期 A+B	後期 A+B (%)	前期 A+B	保護者
12	いじめへの対応	いじめなど困ったことや心配なことがあるときは、先生に相談できる	80	86	91	91	お子さんのことで、いじめなど困ったことがあるときは、学校に相談できる
13	保護者と連携した児童の健全育成				97	97	学校は、おたよりやHPなどで、学級や学校のことを知らせている
					79	80	学校行事や育友会行事に、積極的に参加している

いじめ等の対応については、どちらも100%をめざします。また、子どもには毎月の「友だちアンケート」(記名・無記名)を継続するとともに、3学期も児童全員への相談(面談)も行っていきます。また、子ども達が困っていることや心配していることを一番安心して相談できるのはご家族だと思えます。もしもお子さんからのSOSが発信されましたら、学校へもお知らせください。ともに考え、解決策を講じて

いきます。

育友会活動におきましては、日頃よりご理解・ご協力いただきありがとうございます。また先にもご報告いたしましたように、昨年秋には育友会役員の皆様を中心に多くの皆様のご協力をいただき、石川県地区別指定研究発表会を成功させることができました。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

## 対応策

**※子ども達が悩みをより気軽に相談できる環境をつくっていきます。また、日々の学校生活の中でアンテナを高くし、未然防止・早期発見に努めていきます。いじめや問題が発生した場合には、学校全体で迅速に対応します。**

**※育友会と連携して、保護者のニーズに合った育友会行事の企画に努めるとともに、保護者の方々が参加しやすい学校行事になるように努めます。**

## 「第2回学校関係者評価委員会」でいただいたご意見を紹介します

- ・根拠・理由をしっかりと説明する力は今後の伸びに直結していくので、指導の更なる充実を願う。
- ・「三角で話そう」（考え・わけ・根拠を意識した話し方）は大変よい指導だと思う。ノートの書き方も昨年度よりよくなっているが、更に充実させてほしい。
- ・復習や家庭学習には保護者の協力が必要である。より連携を深めてほしい。
- ・自らすすんで挨拶できている。うまくコミュニケーションがとれる子に育ててほしい。
- ・基本的な生活習慣を身に付けさせるためには、必要性を理解させることも大切である。続けることでしっかり身に付いていくので、保護者と連携して指導を充実させてほしい。
- ・いじめ等の対応について、児童が相談しやすい環境づくりに努めてほしい。
- ・大人が目線を感じなくなると自制できないときがある。地域の目が行き届くようにもしていきたい。
- ・心と心のつながりを大切にし、ひととの関わり方を身に付けていってほしい。
- ・たて割り活動は大変よい取り組みである。今後も更なる充実を目指してほしい。
- ・自分の思いや考えを話すとともに相手のいうこともしっかり聞くようになってほしい。
- ・目標を持つことは大きな自信となり成長につながる。個々を見つめ、その子に合った目標を持たせてほしい。
- ・読書の楽しさを感じさせるために、よりいっそう環境を整えてほしい。また今後も読書の大切さをしっかり指導してほしい。
- ・ゲームやインターネット等の影響もあり、家庭での読書の時間は減りつつある。学校で読書の時間を確保したり楽しんだりできるようにしてほしい。
- ・道徳的心情は集団生活や人との関わりにおいて大切なので、これからの指導に期待する。
- ・「考える・議論する」道徳の充実を期待する。
- ・保護者と学校との信頼関係・連携が、子どもの健全育成につながる。
- ・行事等を通して、保護者の横のつながりや先生方とのつながりがもっと増えるとよい。
- ・地域のボランティアや様々なサポートを取り入れることで、教職員の業務改善を図るよう努めるとよい。

皆様からいただいた貴重なご意見・  
ご助言を参考にさせていただきながら、  
今後も改善に取り組んでいきます。

